

プレスリリース

2013年9月27日
株式会社 小学館

報道関係各位

シンガポールを拠点にアジア全域で展開！

学習書籍からコミックまで網羅する現地法人出版社

「小学館アジア」設立

株式会社小学館（本社：千代田区一ツ橋2-3-1、代表取締役：相賀昌宏、以下小学館）は、経済・文化の発展著しいシンガポールに、100%子会社の現地法人「小学館アジア」を設立しました。新会社では、英語をはじめ多言語による出版を総合的な戦略で進めてまいります。

1. 新会社設立の背景

小学館では、以前から積極的に海外での出版事業を展開しております。

1986年からアメリカ・サンフランシスコにおけるVIZコミュニケーションズ設立を皮切りに、パリとベルリンにVIZヨーロッパ(以上は集英社、小学館集英社プロダクションとの合弁)、中国・上海市に上海VIZ、台湾では台湾小学館を設立し、それぞれの地域性や文化に応じて出版事業、広告事業を自社で行ってきました。アジアにおいては、各国の現地出版社をパートナーとしてライセンス出版してきました。

しかし、グローバル化がいよいよ進行しさらにアジアにおける新興国の台頭から、より積極的なアジア進出の必要性が生じてきました。その機運が、新会社設立の背景となっています。

2. 新会社設立の目的

小学館アジアは、これまでに培った海外出版での経験や従来のライセンスをベースに、自社での出版事業を行うべく、アジアの新興国への進出をいたします。経済発展著しいタイやインドネシア、インドさらにはカンボジアなどこれからの発展が期待される国々は、文化や経済に一層の発展が見込める地域でもあります。経済発展に伴い所得水準もあがり、教育に対する関心も高まっています。

小学館は楽しみながら学習意欲を向上させさらに教育レベルの向上に寄与する学習雑誌のノウハウと歴史があります。アジアの新興国で英語のみならず多言語にて学習意欲を刺激する書籍や、学習まんがなどを広く出版することで、地域の学習レベルの向上

に寄与するだけでなく、大きく市場を拡大することができるものと思われます。出版における教育と文化でアジア諸国とともに成長したい、これが小学館アジアの設立の目的です。

3. 新会社の事業内容

新会社の事業内容は以下の通りです。

- ① ドラえもんをはじめとするコミックスの英語版を、広く展開し、大人にも子どもにも夢と好奇心を届けます。
- ② 子どもの図鑑、学習を楽しくサポートする書籍などの英語版を展開します。
- ③ 各国ローカルパートナーとの連携をより密にし、弊社からアニメーションの導入とメディアミックス戦略、それに続く商品化など多角的に市場を盛り上げるノウハウを届けます。
- ④ 将来をにらんだデジタル化の展開において、デジタルファーストなどの実験的な取り組みも行っていきます。
- ⑤ オセアニア、インドなども積極的に市場調査をし、ASEANにとどまらないチャレンジをまいります。

4. 新会社の概要

<会社名> 小学館アジア

SHOGAKUKAN ASIA Pte.Ltd.

<所在地> #25-45 One Raffles Quay, North Tower, Singapore 048583(仮オフィス。10月まで)

2 Shenton Way #10-02 SGX Centre 1, Singapore 068804(11月予定)

<設立年月日> 2013年9月18日

<社長> 加治屋 文祥 (株式会社小学館マルチメディア局プロデューサー)

<役員>取締役 横田 清 (株式会社小学館 取締役)

取締役 都築 伸一郎 (株式会社小学館 取締役)

取締役 相賀 信宏 (株式会社小学館 取締役)

取締役 堂垣 孝夫 (株式会社一ツ橋マネジメント 取締役)

<資本金> SG\$ 1,200,000

以上。